

# スポーツ関係団体・指導者アンケート調査の結果について

山形県スポーツ指導者協議会

本協議会では、県内スポーツ指導者の資質向上を図るため、県スポーツ協会等と連携して各種研修会を開催するなど指導者の育成に努めているところですが、現在全国的に進めている中学校部活動の地域移行（地域展開）においては指導者の養成・確保が課題となっており、今後はスポーツ関係団体等の協力を得ながら推進していく必要があると考えております。そこで、昨年12月(R6.12)に県内スポーツ指導者の実態を把握し今後の取組みに活かすため、各スポーツ関係団体及び団体所属の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者を対象にアンケート調査を実施しました。

最終的に回答があった団体は34団体（58団体中）、公認スポーツ指導者は81人（各団体から5人程度選抜）でした。なお、公認スポーツ指導者については個人情報保護に関わる事情から、所属するスポーツ団体等でも把握し切れていないため、回答数は少数でした。以下調査の概要です。

## 1 調査内容

### (1) スポーツ関係団体アンケート調査

- 問1 スポーツ関係団体の実態（役員構成、会員登録者数、指導者登録者数）
- 問2 組織運営上の課題（競技人口、指導者、競技力、団体の運営等）
- 問3 今後のスポーツ振興上の役割（競技の普及、選手育成、指導者・審判の養成等）
- 問4 組織運営上望むこと（登録会員増、指導者・審判員増、運営費増等）
- 問5 県・市町村等関係機関への要望（施設等の充実、運営等への支援、大会誘致等）
- 問6 スポーツを推進する上で期待する効果（競技人口増、地域振興、青少年の健全育成等）
- 問7 スポーツ施策に関する意見・要望等（自由記述）

### (2) 公認スポーツ指導者アンケート調査

- 問1 取得している指導者資格の実態（性別・年齢・職業、取得指導者資格等）
- 問2 指導者人材バンク「リーダーバンクやまがた」の周知状況
- 問3 指導者人材バンク「リーダーバンクやまがた」への登録状況
- 問4、5、6 過去3年間におけるスポーツ指導状況
- 問7 スポーツ指導者としての今後の活動状況
- 問8 スポーツ施策全般について意見や提案等（自由記述）

## 2 調査の結果

### (1) スポーツ関係団体アンケート調査

別紙による・・・質問紙回答欄に結果数値のみ記載  
その他及び自由記述は別紙（最終頁）に記載

### (2) 公認スポーツ指導者アンケート調査

別紙による・・・質問紙回答欄に結果数値のみ記載  
その他及び自由記述は別紙（最終頁）に記載

## 3 まとめ

- ・各スポーツ団体とも役員の年齢構成は50～60歳代が多く高齢化が一層進んでいる。こうした現状を踏まえ、今後組織を活性化させ持続可能なものにしていくためには、意図的・計画的な人材育成に努めていく必要がある。
- ・組織運営上の主たる財源については会費等が中心になるが、会員の確保が課題となっていることから、今後は民間等の協力が得られるような仕組みについても検討していく必要がある。
- ・県内のスポーツ施設の多くは老朽化が進んでいて施設整備の要望が多数あがっている。中学校部活動の地域展開等も含め競技の普及・振興、とりわけ競技力の向上を考えた場合は指導者や審判員等の養成・確保が重要になってくることから、これについても各スポーツ団体が計画的に進めていく必要がある。
- ・今回のアンケート調査結果を踏まえ、引き続き県スポーツ協会、各スポーツ団体等とも連携して本県スポーツ振興のカギとなる指導者の養成に努めていきたい。